



完訳 7つの習慣 人格主義の回復（スティーブン・R・コヴィー）

人生の基本となる本。この本に24歳の時に出会えて幸運であったと思います。読めば読むほど新しい世界が広がり、自分のこと、社会のことを考えさせてくれます。全人類が読んでほしい一冊です。

影響力の武器 なぜ、人は動かされるのか（ロバート・B・チャルディーニ）

歯ブラシはめんどくさい、歯医者さんに行くのは嫌だ、誰もがそんなことを思うと思います。ですがそんな人にも毎日楽しく歯ブラシしてほしい、歯医者さんに行くことが楽しみになってほしい、そんな人が少しでも増えてくれればいいなって知識が詰まっている本です。

ゆびたこ（くせさなえ）

指しゃぶりがやめられないこどものための本です。少し絵柄が怖く作られており、大人でもこんなゆびたこができてしまったらいやだなと感じる話でした。なぜか子どもには人気の本なので、この本を読めば指しゃぶりをやめられるかもしれません。

バフェット&ゲイツ 後輩と語る 学生からの21の質問（センゲージラーニング）

あのウォーレンバフェットさんとビルゲイツさんが二人で学生からの質問に答えています。ユーモアセンスたっぷりに学生からの質問に答えながら人生のお話をしてくれます。規模が違う人は考えている規模が違いますね。大学のトレーナーを脱ぐシーンが好きです。

20歳の自分に受けさせたい文章講義（古賀史健）

あの「嫌われる勇気」で有名な古賀 史健さんが文章の書き方について教えてくれます。本を読んで「あー面白かった」で終わる人が増えていると聞きます。文章を書くということは翻訳をすること。電話や動画で伝えることが多くなってきている時代だからこそ、自分の気持ち文章でを翻訳するために読んでいただきたい名作です。

ねむり（村上春樹）

圧倒的な世界観のイラスト、読み手を引きずりこむ溶けるような文章、ねむれない夜にしっかりと読みたい本です。夜眠れない人の日常生活のお話で、何度でも読み返したい本です。主人公の旦那さんが歯科医師。主人公に顔も覚えられていない。

0歳からのおうち矯正（鈴木設矢）

矯正と聞くと器具を使って治すイメージが多いと思いますが、実は矯正歯科にかからなくても正しく成長すれば歯は自然にきれいに並んでくれます。これから小児矯正を考えている人だけでなく、赤ちゃんがいるご家庭で読んでほしい1冊です。

みがいてあげる（作：ふくべあきひろ 絵：おおのこうへい）

『たべてあげる』の続編が!?!歯ブラシをさぼりお菓子を好きなだけ食べているのは虫歯になってしまうということがよくわかるお話でした。お子さんが自ら歯ブラシをしたくなる動機付けにも繋がると思います。

否定しない習慣（林健太郎）

人は誰もがいろいろな考え方で生きています。特に歯科医療機関で働いているといろいろな人、いろいろな考え方の人と毎日お会いします。そんなみんな違う考え方を受け入れるのは自分自身の問題です。『否定しない自分』になる為の考え方や方法が分かりやすく書いてあります。歯の病気は歯科医師だけで治すわけではありません。患者さんと歯科医師、歯科衛生士やスタッフがお互いの意見を尊重し、協力して、歯を含めた問題を治療していかないと上手くいきません。そんな歯科治療を成功させるために大切なことが書いてある本です。

BLACK JACK（手塚治虫）

医療関係者は誰もが憧れるブラックジャック先生。そんな素敵な先生になりたいです。小さいころ一度は読んだことがあるはずのこの不動の名作、もう一度読み直してみたいはいかがでしょうか。手塚治虫先生の世界観、ピノコの可愛さ、たまにでる南無三、一度読みだすと止まりません。



市川市の店主さんが選んだ本をご紹介します

今月の店主（？）



市川市大和田2-13-24 メディカルステーション内



病院情報はこちら